

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

松島町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮城県宮城郡松島町

3 地域再生計画の区域

宮城県宮城郡松島町の全域

4 地域再生計画の目標

松島町の人口は年々減少しており、住民基本台帳によると令和2年度末には13,594人となっている。本計画の目標年次である平成37年の将来人口推計結果は、特別な人口対策を行わない場合、約13,400人まで減少することが見込まれる。松島町の高齢化率（65歳以上）は、令和元年度末現在で38.6%となっており、塩釜広域圏の中では最も高くなっている。

年齢3区分別の人口推移をみると、平成22年から平成27年にかけて年少人口は1,510人から1,375人、老年人口は4,654人から5,083人となっており、少子高齢化が進んでいる。生産年齢についても、同期間において、8,920人から7,957人となっている。

本町の自然動態をみると、出生数は平成6年以降において146人をピークに減少し、令和元年には51人となっている。その一方で、死亡数は令和元年には223人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は172人の自然減となっている。合計特殊出生率をみても、平成29年には1.29と県平均値を下回っている。

社会動態については、平成27年には転入者（501人）が転出者（464人）を上回る社会増（37人）であった。しかし、働く場の近くに住まいの場を求める傾向などから、町外への転出者が増加し、令和元年には104人の社会減となっている。

このまま人口減少が加速すると、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退など、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題を踏まえ、町の将来像「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しい町 松島」を実現するためには、人口減少や少子高齢化が顕在化している松島町の現状や国際観光都市に位置づけられる松島町の特徴を踏まえると、「若者の定住の促進」、「地域の実情に応じた子育て支援」、「観光客と住民等の交流の促進」が重要となることから、次の3点を重点戦略と定め、課題解決のための施策を推進していく。

重点戦略①：定住

重点戦略②：子育て

重点戦略③：交流

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	空き家バンク登録件数	延べ74件	延べ100件	重点戦略①
	空き家バンクマッチング件数	延べ38件	延べ50件	
	住民満足度(宅地整備)	8.2%以上	14%以上	
	住民満足度(有効な土地利用)	5.9%	18%以上	
	市街地整備事業の推進	1地区	1地区	
	産業系土地利用の推進	0地区	1地区	
	国土利用計画の改定	0回	1回	
	都市計画マスタープランの事業推進 (計画の実施)	3地区	4地区	
	自主防災組織の結成率	75%	100%	
	消防団員数	207人	250人	

	消防車車庫整備数	2 施設	3 施設	
	火災発生件数（年）	4 件	4 件未満	
	急傾斜地指定箇所数	247 箇所	247 箇所以上	
	土砂災害件数（年）	0 件	0 件	
	土石流危険箇所指定箇所数	39 箇所	39 箇所以上	
	土砂災害件数（年）	0 件	0 件	
	防災計画の見直し	1 回	1 回	
	避難行動要支援者避難プランの作成率	5.6%	10%	
	福祉避難所協定数（団体数）	10 団体	12 団体	
	防災訓練回数（年）	0 回	1 回	
	災害死傷者（年）	0 人	0 人	
	松島消防署移設に向けた検討継続	1 箇所	1 箇所	
	無線視聴可能エリアのカバー率	90%	100%	
	安心安全メール登録者数	2,611 件	4,000 件	
	定住促進補助件数（年）	23 件	20 件以上	
	首都圏からの転入者数（年）	22 人	25 人	
	地域おこし協力隊の方針決定を含む導入準備、隊員数	隊員数 0 人	隊員数 2 人	
	転入率（年）	2.0%	8.5%	
イ	特定健診受診率	49%	60%	重点戦略②
	胃がん検診受診率	20%	40%	
	大腸がん検診受診率	31%	50%	
	乳がん検診受診率	39%	50%	
	子宮がん検診受診率	24%	40%	
	悪性新生物の標準化死亡比 (①男性②女性)	①100.1 ②98.7	①100.0 以下 ②95.0 以下	

脳血管疾患の標準化死亡比 (①男性②女性)	①133.6 ②122.7	①110.0以下 ②100.0以下
休日昼夜間診療開所日数(年)	70日	70日
住民満足度(医療体制)	11.6%	20%以上
乳幼児BCG予防接種率	100%	100%
乳幼児MR1期予防接種率	96%	100%
乳幼児MR2期予防接種率	94%	100%
住民の健康保持に向けた管理運営	1箇所	1箇所
特定不妊治療助成利用人数(年)	延べ8人	延べ10人
乳幼児死亡率の減少	0%	0%
保育所待機児童数	20人	0人
住民満足度(子育て環境)	12.8%	20%以上
医療費助成率	100%	100%
ファミリーサポートセンター利用件数 (年)	86件	60件
認定こども園開所数	0園	1園
学力向上研修会の実施回数(各校・年)	1回	1回
不登校者率	小学校1.7% 中学校4.8%	小学校、中学校 各2%以下
外国語指導助手数(年)	2人	2人
未来志向の学校施設・設備の充実	4校	4校
「まつしま防災学」に基づく授業の実施 (各校・年)	4時間以上	4時間以上
アプローチカリキュラム実施園数	3園	3園
学校施設整備	7校・園	7校・園
住民満足度(学校施設)	9.0%	28%以上
食育指導回数(年)	1校1回	各2回
主要野菜の地場産使用割合	20%	30%以上
教育振興基本計画の見直し	1回	1回

ウ	観光客入込数（年）	160 万人	300 万人	重点戦略③
	景観重点地区補助件数（延べ数）	7 件	10 件	
	松島湾の環境・景観保全活動の実施回数（年）	1 回	1 回以上	
	アンケート実施による施設等の魅力向上	アンケート結果の分析・活用	アンケート結果の分析・活用	
	ファンクラブ加盟店利用者数（年）	0 人	50 人	
	イベント出店店舗数（年）	2 ブース	3 ブース	
	SNS での情報発信回数（年）	42 回	70 回	
	案内所利用者数（年）	860 人	45,000 人	
	国外向けプロモーション回数	0 回	1 回	
	産業間連携に向けた活動回数（年）	0 件	1 回以上	
	松島ブランド認定数（延べ件数）	30 件	50 件	
	松島海岸駅の駅前広場の事業検討及び整備	0 駅	1 駅	
	新商品開発研修会の開催回数（年）	1 回	2 回	
	新たな商品開発	0 件	2 件	
	イベント・体験型観光メニューの充実	0 件	3 件	
	住民満足度（観光振興）	13.0%	30%以上	
	住民満足度（まちづくり活動への支援）	6.0%	26%以上	
	行政相談開催回数（月）	1 回	1 回	
	タウンミーティング開催回数（年）	2 回	5 回	
	住民満足度（まちづくりを考える活動）	5.7%	28%以上	
情報公開制度検討	情報公開の適正な実施	情報公開の適正な実施		

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

松島町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業

- ア 重点戦略①「定住」事業
- イ 重点戦略②「子育て」事業
- ウ 重点戦略③「交流」事業

② 事業の内容

ア 重点戦略①「定住」事業

松島町長期総合計画後期基本計画の目標年次である2025年の将来目標人口14,000人を達成するためには、子育て世代を中心とした若者の定住促進に努め、転出の抑制と転入の増加により、人口の社会減に歯止めをかけていく必要がある。

このため、住み心地の良い生活環境を保全・創出するため、都市部・農村部・山間部の地域の特性を生かした、人と自然が共生する土地利用に努めるとともに、鉄道駅や三陸縦貫自動車道等の交通利便性や仙台市に近接するという立地特性を生かし、若者の定住促進の受け皿となる新たな住宅地の整備を図る。また、東日本大震災の経験を踏まえて、松島を訪れる方の避難を含め、地域が一体となって自助・共助・公助による防災体制を確立し、すべての人が安心して暮らせるまちの形成を目指す。

さらに、転入者への住宅確保の支援策を推進するとともに、町の魅力等を掲載した定住ガイドブックやホームページの空き家バンク制度等を活用した定住促進に関する情報提供に努める。

【具体的な事業】

- ・産業拠点形成の推進のための基盤整備
- ・定住促進の支援 等

イ 重点戦略②「子育て」事業

近年では、町立の保育所、幼稚園、小学校、中学校の園児・児童・生徒数は、少子化の影響等により減少傾向にある。少子化が進む中、晩婚化や核家族化の影響等により、保育需要が多様化しており、こうした社会情勢の変化に対応した的確な子育て支援体制の整備が求められている。

このため、子どもが心身ともに健やかに育つことができるよう、保育の量的拡大・確保や児童福祉の強化を図るとともに医療体制の充実に努める。また、子育てに関する相談体制や地域住民のニーズに応じた子ども・子育て支援の充実に図り、安心して子育てできる環境づくりを行う。

さらに、安心して学べる教育環境の充実はもとより、質の高い教育・保育の提供と子育て環境の整備に努め、地域や家庭との協力体制を強化し、学力向上と豊かな心を育む教育を推進するとともに、松島町の豊かな自然や歴史・文化等に学び、地域づくりの一翼を担う人材育成に努める。

【具体的な事業】

- ・認定こども園整備
- ・子育て支援の充実、教育環境の向上 等

ウ 重点戦略③「交流」事業

松島町は豊かな自然や由緒ある歴史的建造物を多く有し、「日本三景」のネームバリューにより多くの来訪者を集め、東北の観光を牽引してきた実績があることから、引き続き松島町の自然や歴史・文化を次世代に継承していく必要がある。

このため、良好な景観形成に努めながら、国際観光都市松島としてのブランドイメージの強化を図り、住民自らがまちに対する誇りと愛着を持てるような取り組みを推進していく必要がある。また、かき祭りやまつの市のイベントなど、住民・農林水産業関係者・商工業関係者らが観光を軸とした連携を図り、新たな観

光資源の開拓や新商品の開発など魅力的な観光まちづくりに向けた取り組みの推進に努める。

さらに、住民・団体・民間等と行政が一体となって、協働によるまちづくりが実現できるよう、地域のイベントなどに関する情報発信を行うとともに、人材育成や組織活動への支援等により、地域コミュニティの保全・育成に努め、地域内・地域間・世代間の交流促進に努める。

【具体的な事業】

- ・新たな観光地づくり
- ・観光交流拠点整備 等

※なお、詳細は松島町長期総合計画後期基本計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄付の金額の目安

1,100,000 千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度6月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに松島町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで